

2023年度 School Rose Garden Project 取組内容 報告

1 目的

- ・「世界バラ会議福山大会」への関心を高め、地域を愛する心を育てる。
- ・ローズマインドを理解し、実践意欲を高める。

2 参加児童 3年生

3 取組

	School Rose Garden Project	総合的な学習の時間	NIE 教育	国語	社会	図画工作	体育	学校行事
4月	参加決定							
5月		福山の自慢調べ		こまを楽しむ	市の様子	ばらを描く	リズム・ダンス	運動会
6月			中国新聞出前授業			↓		
7月								
8月								
9月								
10月			新聞で情報収集			ばらを描こう作品展		社会見学
11月			↓	すがたをかえる大豆				
12月	中部ブロック出前授業							
1月		ばらクイズ作成			ありの行列	市のうつりかわり		
2月	アミローズ園開園(ばら苗植栽)	ばらクイズ出題		↓		↓		
3月	ばらの世話							

(1) カリキュラムマップの活用

School Rose Garden Project を3年で行うという期間を設定し、2023年度3年生の児童を取組学年と選定した。また、カリキュラムマップを活用し、教科横断的にプロジェクトを進めることとした。

3年生の取組の集大成として、加茂小学校にばら園を開設することにした。本校には、既にばら園は設置されていたが、児童の関心は希薄であり本校においてランドマーク的な機能を果たしていなかったからである。児童自らがばら園を開設したいという思いをもつために、児童が自然なかたちでばらと親しむ機会を設定した。

5月、運動会で3年生は「ふくのやま音頭」を演技することになった。体育科のリズム・ダンスの単元で踊りの練習をしたが、「ふくのやま音頭」の歌詞には、たくさんの福山の名産が出てくる。児童から、福山の名産について調べたいという声があがり、社会科や総合的な学習の時間を使って調べることとなった。「ふくのやま音頭」は冒頭「備後福山ばらの町～」から始まる。なぜ福山がばらの町となったのか調べたいという思いをもつ児童もあり、校外学習でばら公園へ行ってみようという計画をたてた。

また、図画工作科でばらの花を描いた。児童は、本校のばら園に通いばらを観察しながら熱心に絵に表していた。ばら園の世話を誰がしているのかという疑問の声が上がった。本校では栽培委員会の6年生が普段世話をしていることに気付くことができた。その時に中部ブロックの方々から適宜アドバイスや、ばらの世話をしてくださっていることを児童に伝えた。児童の作品は「ばらを描こう 作品展」に出展した。

10月社会見学で5月に計画していた、ばら公園を訪れた児童はたくさんのばらが咲いていると期待して訪れたが、2023年度は「世界バラ会議 福山大会」に向けてばら公園がリニューアルされている途中で公園からばらが撤収されていた。「世界バラ会議」が福山で開催されることについて初めて認識する児童もいた。学校に帰り「世界バラ会議」についてインターネット等で調べる児童もいたが福山での盛り上がりを感じることができず、学年全体を巻き込んだ動きとはならなかった。6月に中国新聞の出前授業を受けたこともあり、まずは「世界バラ会議福山大会」の新聞記事を集めてみようという提案が提案された。

大きな転機となったのは、12月の中部ブロックの出前講座である。福山がばらに特別な思いを寄せる理由（戦後の復興のシンボル）やローズマインド（思いやり・やさしさ・助け合いの心）そして「世界バラ会議福山大会」にむけた市の取組を学び、本校にあるばら園を大切にしたいという思いをもつ児童が増えた。折をみて、本校でばら園が新たに開設されることを伝えると、「自分達で世話をしたい」「全校児童にも伝えたい」と熱い思いを語る児童が多数となった。



ローズマインドをからだで表現しています。

(2) ばら園開設

新しいばら園に名前をつけたいという児童の思いから、話し合いを重ねた。児童からは、新しいばら園は、加茂小学校の児童みんなに親しんでもらいたい、地域の方みんなに見てもらいたいなどたくさんの意見がでた。どの意見にも共通していた「みんな」ということばを入れようと確認し、結果スペイン語の仲間・みんなという意味がある ami を採用し「アミローズ園」という名前に決定した。また、「アミローズ園」の看板を彩るばらの花の絵を児童が描いた。たくさんのばらの花が描きあがり、看板に入り切らなくなり、残りは「アミローズ園」を知ってもらうために描いたばらの花で葉を作成し、6年生への卒業祝いのプレゼントとした。

2月ついに加茂小学校に「アミローズ園」が開園した。当日の司会や式次第は児童が決め、運営した。



(3) 「アミローズ園」に親しみをもってもらうための取組

児童は社会科「市のうつりかわり」で、詳しく福山の戦争被害の実態や未来に向けた取組について学んだ。ばら園のばらを美しく咲かせたい、ばら園にみんなに親しんでもらいたいという願いを達成するために「ばらクイズ」を出題することにした。3択クイズにすれば低学年も取り組むことができ、全校児童に関心をもってもらえるのではないかと考えたからだ。児童の関心にあわせて調べる内容ごとに学年児童を3つのグループに分けた。

①ばらの育て方・世話に関すること

②ばらの雑学（種類・花言葉等）

③福山とばらの物語（主に世界バラ会議 福山大会について）

③のグループについては、資料として、新聞の切り抜きをつかった。どのグループも資料から国語科の説明文で学習した中心となる文をみつけたり、段落と段落のつながりを考えたりすることを意識しながら活動した。

作成したクイズは、給食時間の全校放送で出題し、全校児童を巻き込んだ活動となった。

※4枚目に児童が作成したクイズの一例を載せる。

(4) 2024年度に向けて

2025年「世界バラ会議 福山大会」のテーマ「Rose for the Futuer ～福山からはじまる、新しい未来～」を実現するために平和について学びながら School Rose Garden Project を勧めていく。

問題 2024年1月21日中国新聞からの出題です。

2025年5月のバラ会議福山大会の500日前イベントがJR福山駅で行われました。

それにつかわれたバラは、ゴールドバニーです。そのゴールドバニーの花の色は、何色でしょう。

- ①ゴールド ②ぎん色 ③黄色



答えは③の黄色です。

バラの病気「ウドンコ病」は、葉のうしろの色がかわります。何色になるでしょう。

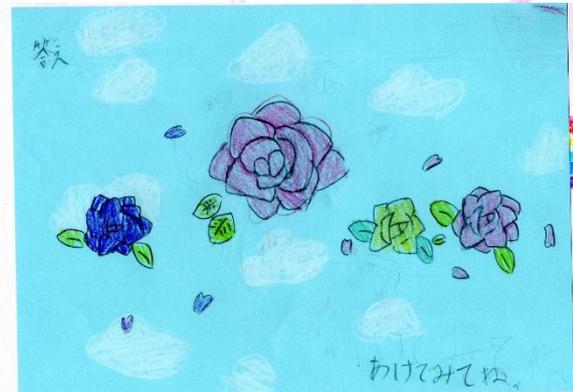
- ①きりろ
②くろいろ
③しろいろ



答えは③の白色です。

①「しんらい」「かわらぬあい」の花言葉をみつバラはどれでしょう。

- ①ゴールドマリー
②ミジュルメイラン/ミジュルメイラン
③マリーナ



答えは①のゴールドマリーです。

クイズは色画用紙をめくると答えが見えるように作成した。2023年度は、クイズは放送で行ったが、今後 School Rose Garden Project を進めるなかで、取組のまとめの場「バラ会議in加茂(仮称)」でも利用できるようにした。